

平成28年度第1回庄内町固定資産評価審査委員会調書

日 時 平成28年10月5日（水）午前9時50分から午前10時50分まで

場 所 庄内町役場 第1会議室

出席者 固定資産評価審査委員会委員 佐藤 成彦
固定資産評価審査委員会委員 松浦 一字
固定資産評価審査委員会委員 富樫 俊
固定資産評価審査委員会書記 樋渡 満

説明員 庄内町税務町民課長 門脇 有
庄内町税務町民課資産税係長 樋渡 史子
庄内町税務町民課資産税係主任 佐藤 敦史

1 開 会

樋渡説明員 それでは、平成28年度第1回庄内町固定資産評価審査委員会を始めます。なお、内容につきましては審査申出がございませんでしたので、状況報告のみとなります。開会にあたりまして、佐藤委員長より挨拶をお願いいたします。

2 挨拶

佐藤委員長 本日はお忙しいところありがとうございます。職員の皆さんには、日頃から、町民の方からの固定資産税に対する問合せに対しまして、懇切丁寧な受け答えをしていただき感謝いたします。また、今年度は行政不服審査法等の改正によりまして、4月1日から審査等の申出期間が60日から3か月に延長されました。政府広報オンラインなどでも、50年ぶりの全面的な見直しということで、公正性や使いやすさの向上が図られたということで胸を張って宣伝しているようです。こういった中で、来庁される皆様にも、これまでとは違った動きがあったのではないかと感じております。本日は、日頃思っていることを忌憚なくお話しいただければありがたいと思います。簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。

樋渡説明員 続きまして、税務町民課長が挨拶いたします。

税務町民課長 4月1日から職員の人事異動によりまして税務町民課長となりました門脇です。よろしくお願いいたします。委員長さんからもありましたように、行政不服審査法の全面改正がございました。今年4月1日に施行され、町の例規も同様に申出期間が60日から3か月に延びております。資料2にありますとおり、固定資産税の評価額を公示した日が4月1日、通知した日が5月21日ということで、通知してから3か月が経過していますが、申出がございませんでしたので、本日の委員会は固定資産税に関する状況等についての説明をさせていただきたいと思っております。また、税に関しましては、固定資産税だけでなく住民税、国民健康保険税も含めまして、町民の皆さんのご理解をいただけるよう事務の執行にあたってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします

3 報 告

(樋渡説明員が添付資料の説明)

佐藤委員長 申出期間が延長されましたが、来庁される町民の皆さんに何か変化を感じることはありますか。

樋渡説明員 窓口において、変化を感じることは特にありません。問合せも例年と同じような内容です。

佐藤委員長 ここ何年間か不服申し立てがないのは、職員の皆さんの窓口対応がよいからではないでしょうか。

税務町民課長 課全体として、来庁された皆様に対して懇切丁寧な説明を心がけております。また、近年地価がずっと下落していることも、申出がない大きな要因ではないかと考えております。

佐藤委員長 総じて不動産の動きはどうですか。

樋渡説明員 土地、家屋とも活発に取引されているといった印象はありません。

富樫委員 耐震補強をした場合、価格は上がりますか。

樋渡説明員 していないものに比べれば、構造部分も強固なものになりますので、価格にも影響すると思っております。

富樫委員 改築で耐震改修した場合の評価はどうなりますか。

樋渡説明員 改築でも、面積が変わらない場合は評価しておりません。

佐藤委員長 古い建物の利活用についてのアンケートがありましたが、結果はどうでしたか。

樋渡書記 建設課が中心となってアンケート調査をし、取りまとめをしています。いろいろな調査項目があり、現在精査している段階ですが、調査の結果は年度末には分かる予定です。

- 佐藤委員長 動き始めた、という印象です。空家の数も結構ありますね。
- 税務町民課長 状況としては、狩川地域と余目の駅前、東一番町など住宅密集地に多いという中間報告が出ています。一番問題になるのが、危険な状況にある家屋で、自治会長さんも危惧されております。会議では対策なども含めて検討しておりますが、難しい状況です。
- 富樫委員 ところで、活断層、土砂災害、浸水想定区域などに指定された場合、評価額に影響がありますか。
- 樋渡説明員 土砂災害区域に指定されたところについては、平成30年度の評価替えに向け所要の補正を行うよう準備しているところです。
- 富樫委員 土砂災害の区域は立川地域ですから、補正を行っても、税収には影響ないでしょう。
- 樋渡説明員 立川地域については、価格の下限という問題があります。価格は今後も下がると思われますが、宅地の価格が農地の価格を下回る逆転減少は避けなければなりません。隣接する羽黒や楡引地域の価格などにも注意しながら、価格のバランスを取っていかねばならないと考えております。
- 富樫委員 浸水区域はどうでしょう。
- 樋渡説明員 庄内町は該当ありません。

3 その他 (特になし)

4 閉 会

- 樋渡説明員 これをもちまして、平成28年度第1回固定資産評価審査委員会を閉会します。